

インド通信

みやぎ海外絆大使
JICA 海外協力隊
澤村啓之

インド通信第 12 号です。
今回はインドの教育事情、競争社会のお話です。

バンガロールの街中の学校の前でよく見かけるのは写真のような看板です。

そうです。生徒の顔写真が成績順に張り出されているのです。このような形で競争心をあおって勉強させる仕組みです。

一方、インド全体に目を向けてみるとインドの識字率は約 75%です。特に田舎の貧困層を中心に読み書きが出来ない人々が 25%もいるのです。インドの人口は 14 億人ですから、何と 3 億人以上の人が読み書きが出来ないことになります。

都市部では異常なほどの競争が繰り広げられていて、一方、田舎では読み書きが出来ない人がいる。完全に 2 極化した社会構造と言えます。

また、競争が生み出す別の問題も顕在化しつつあります。失業問題です。都市部を中心に高学歴化が進展し、その学歴に対応した形での職業が不足しているので多くの高学歴の人間が失業状態にあるというわけです。

ちなみにバンガロールの若者の失業率は現在約 17%です。高いと思いませんか？

日本の識字率は 100%！インドのこの看板を見て色々と考えてしまうのでした。。



成績優秀者の写真



この学校にも！



学校の入り口は看板だらけです。